



アクトレス

NO. 61

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ 演劇の力 / 集団の魅力 —— shelfのこれまでとこれからについて 矢野 靖人 (shelf代表)



演劇の力は単に魅力的な俳優、卓抜な演出にあるだけでなく、時間をかけて蓄積され、集団に共有された身体の文法、時間と空間を構築する身体の「文体」とでもいうべきものにあるのではないかと思う。あるいは、人が人と時間を共にすることで、身体に澱のように堆積していく経験と知に。

2002年2月、shelfは東京で演出家と俳優一人の二人のユニットとして活動を開始した。今から7年前のことだ。

振り返ってみると、それからの活動は三つの時期に分けられると思う。最初の三年間、客演俳優を集めてプロデュース公演を繰り返していた時期。短い時間で如何に集団性を獲得するか。試行錯誤して独自の方法を身につけた。集まった集団で都度ワークショップを行い、一定の期間を経てその集団、その集団にユニークな身体の文法をお互いの関係から確立する、というそのスタイルは、今もshelfの創作プロセスの中心を成している。

それから所属メンバーが入れ替わり、2006年、現在最古参の劇団員で俳優の川淵優子が入団し、ついで音響志望のスタッフと俳優の大川みな子が参加した。俳優はたったの2人、スタッフと自分を入れても4人という小さな集団だったが、私は集団を率いることで、集団での活動を通してしか学べないことがあることを知った。

それから翌年、2007年の末に行われた七ツ寺共同スタジオ35周年記念企画での長期間に渡る滞在制作を経て、新たな俳優が2名参加した。メンバー

が7人になってからの一年間(2008年)は、自分たちの集団性を深め、普遍性を獲得することを目指した一年だった。東京公演だけでなくいろいろな地域へと出かけた。できる限り多くの他者の視線に晒されよう、表現の強度を高めよう。8月に富山県利賀村で行われた演劇人コンクール2008(主催/舞台芸術財団演劇人会議)に参加し、10月には名古屋で三度目になる七ツ寺共同スタジオでの公演を行った。旅の一年目に、利賀で上演した「Little Eyolf - ちいさなエイヨルフ -」で川淵優子が演劇人コンクール(最優秀演劇人賞)を、同作品名古屋公演で、名古屋市民芸術祭(審査員特別賞)を、と二つ続けて大きな賞を戴けたことは少々出来すぎというしかないが、自分たちが今、自分たちの表現においていちばん大切にしていること、及びその方向性が決まっていなくていいということを確認されたようで、活動を続けていく上での大きな励みとなった。

演劇は集団の芸術である。しかしそれだけではない。芸術である以前に、もっと大きなもの——人と人、人と社会の相克を描き、関わり方を検証するための一つの「形式」だ。劇団をつくり、集団創作という、非常な時間と手間のかかる面倒なプロセスを通して創作を行うことの意義と可能性、即ち演劇という形式の意義と可能性はそこにある。

私は今、このようにして集団の力と可能性を信じている。この力をより深めることを通して、私たちはこれからも舞台芸術の発展に寄与していきたいと思っている。



名古屋市民芸術祭参加 ('08) 七ツ寺共同スタジオ提携公演 「Little Eyolf」 '08年10月9日~13日 七ツ寺共同スタジオにて

トピックス

■ 「カラフル3に向けての決意」 大橋 敦史 (制作者、東海シアタープロジェクト代表)



周囲の演劇状況に閉塞感を感じるようになってから、随分と時間が経ちました。「面白いから絶対行けよ!」と友達に名古屋の劇団を勧められる事は相当減りました。私がつけている統計では5年前から名古屋小劇場演劇の市場は約40%減少しました。名古屋を出て東京に行く事を「本気になった」と言う役者は沢山見送りました。時代を作ってきた優れたカンパニー群にも寿命が訪れ始めています。もう閉塞感などのん気に言っている場合ではありません。墓の時代が来てしまったのです。

私自身、活動の軸となっていた集団とその仲間を失い、芝居を辞めようかと思いました。演劇を始めた時の衝動と、公演を作る制作という仕事を思い返す日々が続いています。そんな私に友人達が託してくれた炎が「カラフル」です。カラフルとは、若手演劇人とその支援者によって2003年に始まった演劇ショーケースイベントです。勢いのある若手が閉塞感に威風堂々と挑んだフェスティバル

と言えるでしょう。その熱さが突き動かしてきた出来事は数え切れません。

「カラフル2」から参画した私は、試験管ペビーのかこまさつぐさんと一緒に、「カラフル3」の開催を決めました。そして昨年、有志のスタッフが再び結集しました。前回大会を行った「長久手町文化の家」に加え、欧米の劇場組織に勝らずとも劣らない「ゆめたろうプラザ」での開催が決まりました。東海テレビ放送もメディアとして引続き参画が決まり、主催4者のパートナーシップを強めています。また、全国に広がる旅公演ブームや各地の関係者の尽力があり、地域を背負う多数のカンパニーを迎える事が出来ました。1都1道2府5県からカンパニーが結集し、5日間で1時間の作品を62演目上演するまで規模が拡大しました。

誤解を恐れずに言えば、過去を絨毯爆撃して瓦礫の山を築いてでも、演劇の幹線道路を切り開きます。「カラフル3」の戦いに、どうぞお立会いください。



2009年3月14日(土)・15日(日) ゆめたろうプラザ

アクテノン・シャワー

■ 「アクテノン シニア演劇部展」を開催します!

平成17年度から始まりました50～60代の演劇教室「アクテノン シニア演劇部」も4年の月日がたちました。毎年行われる発表会までの厳しい稽古風景(7ヶ月間)及び本番の舞台写真、また実際に舞台上で使用した大道具、小道具、衣装などを展示します。

パワー溢れるシニア演劇部の風景が良く分かるこの展覧会を、是非、皆様をご覧ください。

ご来場お待ちしております!

場 所：名古屋市演劇練習館 アクテノン1階 資料コーナー

期 間：平成21年2月17日(火)～3月24日(火)

月曜日は休館日です。

9:30～19:00 入場無料

(駐車場がありませんので公共機関でお越しください。)

■ 図書のご寄贈ありがとうございました。

次の方から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきますと思います。

ありがとうございました。

(敬称略)

早稲田大学演劇博物館 (社)日本劇団協議会

新潮社 構 久夫

宝珠山 隆博 中村 須磨子

渡邊 五輪男 京都芸術センター

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 劇団オートバイ



劇団オートバイです。発足以来、年1～2回のペースで公演を行っています。観た人が十人十色の受け入れ方をできる作風、総合芸術的な観せ方が特徴です。中でも最大の特徴の一つでもある舞台美術は劇場に足を踏み入れた瞬間に、その作品の世界に入りこんでしまうこと間違いありません!

そんな劇団オートバイが、3月21・22日、記念すべき#10公演にて千種文化小劇場に挑みます!あの空間で、どんな世界を創り出すか... 乞うご期待です。詳細はHPにて!皆様のご来場お待ちしております!

アクテノンに一言 アクテノンのみなさんのあたたかさ、いつも救われております。そんなあたたかさにあまえるのではなく、遺憾なく力を発揮し常に前進することで、誠意を表します。いつもありがとうございます。

①2003年 ②約10名

③キジナマ/セツ寺共同スタジオ('06) 凸凹(カラフル2出演作品)/長久手町文化の家 森のホール('07)ねじれ/ユースクエア('08)

④麻原 奈未

<http://gekidan-ab.hp.infoseek.co.jp/>

演劇 ユニット・トラージ



ユニット・トラージと申します。劇作家の北村想さんの書きおろし新作「アチャコ」を上演するために集まったユニットです。てんぶくプロからジル豆田、B級遊撃隊から斉藤やよい、新進若手空沢しんか、渡山崇博、ジャブジャブサーキットから土居辰男の5人芝居。演出するは、アベック・ビーズでお馴染み、小林正和。アチャカ芝居「アチャコ」と5人の役者を小林正和がどう料理するか。乞うご期待。

アクテノンに一言 1階の資料コーナーに効果音CDが充実していて、重宝しています。これからもよろしくお願ひします。

①2008年

③アチャコ/セツ寺共同スタジオ('09年7月30日～8月3日公演予定)

④土居 辰男

☎070-6580-2540

<http://www10.ocn.ne.jp/~atyako/index.html>

E-mail:tdoi@dj.pdx.ne.jp

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>劇団青テント 第11回作品 『荒野のビスケット』</p>	<p>① スタジオ・座・ウィークエンド(地下鉄池下駅より徒歩5分) ② 3月15日(日) 13:00 17:00 ③ 1,000円(前売当日共通) ④ ☎080-5158-2575(伊藤) これはコインの肖像画にはなれなかったけど、誰からも愛されるビスケットになった主人公のお話なのだ。</p>
<p>カラフル3製作委員会 演劇博覧会『カラフル3』 1st.stage</p>	<p>① ゆめたろうプラザ(武豊町民会館) ② 3月14日(土) 11:00～20:00、15日(日) 10:30～19:15 ③ 1日通し券 前売3,000円(当日3,500円) ④ ☎0569-74-1211(ゆめたろうプラザ) http://colorful3.jp 百花繚乱の演劇フェス!! 5月ゴールデンウィークに2nd.stageも開催されます!</p>
<p>劇団Hi-T Growth 第8走公演 『田中診療所・夏09』</p>	<p>① 名古屋市北文化小劇場 ② 4月4日(土) 1:00 5:00、5日(日) 11:00 3:00 ③ 前売1,500円(当日1,800円) 学生1,000円 ペア2,000円 ④ 090-9170-4687(水野) 当劇団初の再演! 3年前より役者も脚本もよりパワーアップ! さわやかな夏をあなたに。</p>
<p>月面コレクション 『ヴェラセッティ・ベラルティの箱』</p>	<p>① G/pit(地下鉄東山線・鶴舞線伏見駅6番出口南へ徒歩5分) ② 5月8日(金) 7:30、9日(土) 2:00 7:00、10日(日) 3:00 ③ 前売2,000円(当日2,300円) 学生団体(3名様以上) 1名1,500円 ④ toshiya-akai@mail.goo.ne.jp 何の関連性も脈絡もないショートストーリーが「箱」の中で展開。「箱」って何だ?</p>



編集発行/平成21年2月25日(年4回)
 (財)名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632
 ※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

